

科目区分	専門教育科目	科目名	介護の基本Ⅰ-2		科目コード	17F370	担当者	長尾 久美子			
対象学生	介護福祉士コース1年生	学期区分	後期	単位数	2	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
高齢者や障害者の「生活ニーズと生活障害」、「尊厳を支え、自立に向けた生活を支援する介護」の基本的な視点を学び、実践に活かすことができる。						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・表現・創造力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	高齢者や障害のある人の暮らしとその人らしさを理解する。					◎			○	◎	
2.	生活ニーズと生活障害、様々な生活支援について理解する。										
3.	尊厳を支える介護の在り方を修得する。										
4.											
5.											
授業方法						成績評価の方法と割合					
基本的事項については講義を行うが、視覚教材を活用したり、演習・グループ協議など取入れ、実習などの実践場面に結びつくような授業とする。また、単元ごとに小テストを行い、理解状況を確認する。						定期試験（60%） 臨時試験（20%） 受講態度（20%）					
準備学修						課題等への対応					
日頃から介護に関する体験談などの書籍を読んだり、新聞やテレビ等を見て、介護に関わる社会の状況に関心をもつ。通常の学習時間は30分程度とするが、小テストの復習や主題を深く理解するための自己学習など相当の時間を確保すること。						小テストや提出物などは採点等を行い、学生に返還したうえで、必要に応じて指導する。					
授業計画											
第1回	高齢者の暮らしの理解										
第2回	高齢者の暮らしを支える介護										
第3回	障害を持った人の暮らしの理解										
第4回	障害を持った人の暮らしを支える介護										
第5回	QOLの視点										
第6回	その人らしさの理解										
第7回	生活ニーズの把握										
第8回	個別支援の視点										
第9回	生活障害の理解										
第10回	生活障害の視点からとらえた認知症ケア										
第11回	生活環境の重要性										
第12回	さまざまな生活支援とその意義（身体介護とその意義）										
第13回	さまざまな生活支援とその意義（生活援助とその意義）										
第14回	尊厳を支える介護										
第15回	QOL, ノーマライゼーション、ICFの考え方										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
教科書 「介護の基本Ⅰ」（新・介護福祉士養成講座第3巻） 編集：介護福祉士養成講座編集委員会 出版：中央法規 参考書 「介護福祉士国試ナビ2018」（中央法規） 「QB介護福祉士国家試験問題解説2018」（MEDIC MEDIA）						介護の専門職として基本的な姿勢を身につけましょう。介護のやりがいが見えてきます。					